

仙台市役所経営プラン（令和4年度～令和8年度）中間案に関する 市民意見の概要と本市の考え方

この度は、本プランの中間案にご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。いただいたご意見は、プランの方向性や表記、個別の実施項目など多岐に渡っておりますので、それぞれの意見を参考にしつつ、プランの詳細の検討に生かしてまいります。

今後、令和4年度予算編成等を踏まえ具体的な取組みの詳細や年次計画等の検討を進め、令和4年3月末までにプランを策定し公開してまいります。

（1）プランの方向性に関する意見

No.	意見の概要	本市の考え方
1	プランの名称が「仙台市役所経営プラン」となっているが、なぜ「仙台市」ではなく「仙台市役所」となっているのかについて解説があれば、プランそのもののイメージがより分かりやすいものとなると感じた。	「位置付け」において、本プランは各分野の計画を市役所経営の面から推進する指針として位置付けると記載しておりますが、その趣旨がより分かるように検討いたします。
2	全体として、如何に市の財政の健全化を図るかが計画の主な内容となっていると感じる。もちろん財政の健全化のための経営努力は大切だが、これが主要な目的になるべきではない。市政の最大の目標は市民の安全、生活と健康を守ることである。市の財政に寄与するからと言って市職員を減らし、非常勤職員を増やせばそれだけ市民へのサービスが低下する。	本市においては、仙台市基本計画をはじめとする、まちづくりや市民サービスの向上を図る各分野の計画に基づき、市民ニーズ等を踏まえながら必要な施策を推進しております。それらを下支えする本プランでは、経営理念に「市民のニーズに応じた公共サービスの提供」という基本的な考え方を記載しており、「仙台市役所の目指す姿」の「①未来世代に責任ある財政運営」に掲げた「市民サービスの向上と財政の健全性が両立する組織」を実現できるよう、必要な取組みを進めてまいります。[No.2-3]
3	全体を貫いているのは「合理化・効率化・適正化・公民連携」などを含め市民への負担増と徴収強化、個人情報集約を柱として、くらし・福祉を応援する自治体の役割を捨てることのように思える。必要な計画もいくつか含まれているもののこの仙台市役所経営プラン全体から希望がみえてこないのはなぜか。	

4	<p>徹底的な事務事業の見直し等の記述があるが、実施に当たっては、庁内のコンセンサスを得ながら、できるだけ円滑な対応をし、大きな成果を上げていただきたい。</p>	<p>ご意見の通り、事務事業の見直しにおいては、社会経済環境や市民ニーズの変化等を踏まえつつ、庁内のコンセンサスを得ながら、取組みの実効性を高めてまいります。</p>
5	<p>「仙台市役所の経営理念」「仙台市役所の目指す姿」を実現するため・・・と記載されているが、「仙台市役所の経営理念」のもとに「仙台市役所の目指す姿」を実現するため・・・という理解でよいか。</p>	<p>ご意見の通り、本プランの趣旨がより分かるように検討いたします。</p>
6	<p>『気候変動』が世界的課題になり、日本政府も 2050 年カーボンニュートラル宣言を行ったが、日本はコロナ禍で多くの問題が露呈し、官民挙げてDXに邁進し始めている。これまでの経営プランに対する考え方を抜本的に変え、組織変革と職員の意識変革を行うべき。市幹部及び一般職員の方々は、今までの政策の延長に仙台市が存続するとの考えは捨て、一人一人が『SDGs×DX』を大前提にチャレンジし続ける組織変革、人財変革に取り組んでほしい。</p>	<p>本プランでは、現在直面している様々な社会の変化を力に変え、仙台市役所自身が変化を厭（いと）わず挑戦し、その結果として進化を遂げることを経営理念に掲げております。特に、「仙台市役所の目指す姿」に「デジタル化によるサービスと組織のアップデート」を掲げ、デジタル化を通じて市役所の手続きや業務プロセスを効率化するとともに、市民サービスの向上を図り、職員一人ひとりが市民と十分に向き合うことができる市役所を目指しています。また、SDGs については各分野の計画で達成を目指しており、本プランはそれらの取組みを推進し、SDGs の達成に寄与するものと位置付けています。[No.6-7]</p>
7	<p>今までの仙台市は、自らの発案で政策実行しておらず、すべての政策は、国の政策の後追いであり、最後尾を走っている。これらの市の風土は長い年月で築き上げられたものだと思われるが、このような状態を続けることでは、東北の雄としての役割を全く果たせない。『SDGs×DX』こそ仙台市にとって最大のチャンスであり、東北の先頭に立つ都市経営を行ってほしい。DXによりやり方を抜本的に変え、法律も積極的に変え、筋肉質の経営体制にすべき。公務員だから安穩とはしてられない。身を切る覚悟を持って取り組んでほしい。すべてをデジタル化前提で計画・実行し、デジ</p>	

	タル化に対応出来ない市民には対面で優しくするような職員への変革を期待する。	
8	基本計画において「挑戦を続ける新たな杜の都へ～The Greenest City "SENDAI"～」と掲げているが、本来の杜の都は、すでに高層ビルに変わり、市の緑は激減している。持続可能な仙台市は「気候変動対策」を中心に市民の命とくらしを大切にす施策を進めることだと思う。子ども・若者が元気な緑あふれる街・健康長寿の街を望む。経営プランの性質上仕方がないと思うが、市民の姿が見えてこない。	本プランでは、社会変化を踏まえ、「挑戦と進化を続ける市役所をつくる」を経営理念に掲げております。仙台市基本計画をはじめとする、まちづくりや市民サービスの向上を図る各分野の計画を推進する基盤として位置付け、様々な施策の推進を下支えしてまいります。
9	値上げか徴収強化かでは、市民の負担を増やすことが基本になるので困る。	歳入の確保の方向性については、市税等の収入の確保のほか、多様な財源を増やすことや受益と負担を適正化することなど、様々な観点で取組みを進めてまいります。
10	進行管理については、的確な指標設定と達成度評価が大切だと思う。個々の実施項目の指標と経営指標との相乗効果により、より良い結果がもたらされるよう、市民の一人として期待するとともに応援している。	指標については、市役所全体の財政や組織運営の現状を把握するため、実施項目の取組みで定める指標とは別に経営指標を設定し、計画期間を通じて成果を把握することで、さらなる取組みの推進に生かしてまいります。
11	年度毎にプランの実績について公表するとともに、ホームページを活用できない人のために、仙台市政だより等にて公表してほしい。	本プランの実施項目の実績については、毎年度仙台市のホームページや市政情報センターで公開するほか、それぞれの取組みについて、必要に応じて市政だより等で進捗を報告してまいります。

12	言うがやすしで成果を上げるのは多難なテーマばかりである。旧体制の大企業が突然に最先端の超優良大企業にはなれないが、目標に向かって最優先の課題を絞り、取り組んで欲しい。改革成果の見える化を通じて、市民が目指すマイルストーンを共有化し、行政も未達な場合は責任が伴う体制を考慮すべきである。	いただいたご意見を参考に経営指標を設定し、進行管理に取り組んでまいります。
----	--	---------------------------------------

(2) プランの表記に関する意見

No.	意見の概要	本市の考え方
13	カタカナや横文字が分かりにくい。	本プランの中間案においても、分かりにくいと思われる用語には各ページに説明を加えております。なお、いただいたご意見を参考に、より分かりやすい用語の説明に努めてまいります。 [No.13-16]
14	色んな項目に出てくる横文字の内容が私には解らないので日本語で書いて説明してほしい。	
15	横文字は略さない日本語で書いて、高齢者でも理解できるようにしてほしい。パブリックコメントを求める立場が欠けていると思う。	
16	随所に記してある横文字と略字は一般の市民、殊に高齢者が理解できると思うのか。広く市民に伝えて意見を聴くという立場から考えると配慮に欠けていると言わざるを得ない。	

(3) 個別の実施項目・その他施策に関する意見

No.	意見の概要	本市の考え方
17	全項目が具体的に提案されていないので、もっと中身を明確にして意見を求めている。	今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、各取組み項目の現状等について分析を行い、検討を進めてまいります。[No.17-19]
18	実施項目に目を通したが、提案の具体的な意図が汲み取れない。	
19	中間案自体の説明が簡潔すぎ、抽象的すぎて具体的な内容が分かりにくい。これが実施されると市民は生活する上で負担が増え、暮らしが窮屈になり希望が持てないようになりそうで心配。	
20	よく「あり方の検討」と記載されているがどのように捉えたらよいのか分からない。私にはあいまいでごまかしの言葉のようにはか思えない。	「あり方の検討」については、制度や事業について、現状を分析して今後の方向性を検討することを想定しております。
21	特に「敬老乗車証制度」「ごみ処理手数料」「敬老祝金」の見直しに賛成。敬老乗車証制度を使わせていただきながら、これほど優遇されており申し訳なく思っている。宜しくお考えいただきたい。	今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、各取組み項目の現状等について分析を行い、検討を進めてまいります。[No.21-24]
22	歳入を増やす項目に敬老乗車証制度のあり方、ごみ処理手数料のあり方の検討とあるが、今の制度より悪くなり、市民の負担増にならないようお願いしたい。	
23	児童館・児童クラブ、公立保育所、老人福祉施設のあり方の検討により改悪されることを危惧している。命を大切に安心して暮らせる・市民のための経営プランをお願いしたい。	

24	市税の収入確保、国民健康保険料の収入確保、敬老乗車証制度、ごみ処理手数料について、現在の制度を維持してほしい。	今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、各取組み項目の現状等について分析を行い、検討を進めてまいります。[No.21-24]
25	施設使用料の値上げという意味だと解釈する。自治体によっては使用料無料の所もあると聞く。仙台市は政令市で財源があるはずだから、使用料の値上げは止めて欲しい。	今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、施設使用料等の現状等について分析を行い、検討を進めてまいります。
26	敬老乗車証制度のあり方の検討に関して、「(1)歳入を増やす」における「③受益と負担を適正化する」に位置付けられているが、むしろ、負担1割は維持し、上限12万円をもっと引き上げることを求める。この制度は高齢者の元気づくりを応援するものとなっており意義がある。元気な高齢者づくりは、介護の負担を軽減する。また、消費の拡大にもつながり、地域経済にとっても重要。	今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、敬老乗車証制度の現状等について分析を行い、検討を進めてまいります。[No.26-39]
27	「敬老乗車証制度のあり方の検討」の取組みについて、元気な高齢者は介護予防につながるため、高齢者の負担増にならず、利用しやすい制度に考えていただきたい。	
28	敬老乗車証制度は運転免許証返納者の足の確保として重要であり、元気に活躍できる高齢者を増やし、医療費・介護費の増加を防ぐため、そして街のにぎわいをとりもどすため必要。上限を撤廃してほしい。	
29	我家から仙台駅まで公共交通機関で片道500円程度かかる。敬老乗車証がなくなる、値上げされるとしたら、今までのように気軽にバスに乗れない。高齢者が外に出ていけるようにし、健康を維持するためには大切だと思うので、現状維持してほしい。	

30	<p>普段自転車で用を足しているが、80歳にもなればバスを利用する機会が多くなると思われ、これから恩恵に授かろうと思う時に敬老乗車証が改正されるのは困る。仙台市を活性化するためには老人を大切に、生き生きと暮らせることが重要。現在の1割負担でも利用を控える友人達もおり、前向きな検討を願う。</p>	<p>今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、敬老乗車証制度の現状等について分析を行い、検討を進めてまいります。[No.26-39]</p>
31	<p>敬老乗車証のあり方の検討とあるが、自己負担額が多くなるのではないかと心配。これから活用させていただく身として今までどおりのサービスを受けられるよう切に願う。</p>	
32	<p>敬老乗車証のあり方の検討については、ぜひ上限額の撤廃をすべきと考える。バス・地下鉄の利用を促進する上でも、今の1割負担を上げないように求める。</p>	
33	<p>敬老乗車証については、自分の健康のためにも、出掛けたり、病院に行ったりするので、出掛けたりしやすいようにして今のまままでお願いしたい。</p>	
34	<p>敬老乗車証制度については、刺激を受けることが脳の活性化に大事であり、健康維持のためには外出しやすいことが重要。</p>	
35	<p>敬老乗車証制度は持続すべき。高齢になると身体が思うよう動かないため、外出して刺激を与えること、安心できる生活、思いやりが大事。</p>	
36	<p>敬老乗車証制度は、とても良い制度だと思う。健康を維持するためにも、今の制度のまま、継続してほしい。</p>	

37	敬老乗車証制度は変えないでほしい。	今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、敬老乗車証制度の現状等について分析を行い、検討を進めてまいります。[No.26-39]
38	敬老乗車証については上限をなくし、高齢者が自由に元気に行動できるよう、充実させていただきたい。高齢者が元気になれば医療費も削減でき、経済効果も生まれると思う。	
39	ほんの数年前に敬老パスの1割自己負担を、市民の反対を押して導入したばかり。またも自己負担を増やすことには納得できない。	
40	プラごみ削減を今後目指さなくてはならない時代、ごみ袋の単なる値上げではなく、袋そのものの材料など研究してほしい。	今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、ごみ処理の現状等について分析を行い、検討を進めてまいります。[No.40-43]
41	ごみの処理手数料のあり方の検討とあるが、ごみ袋の値上げがないか心配。コロナ禍の中で収入が減ったり失業したりしている人が多くなっている現在、負担が多くならないよう望む。	
42	ゴミ手数料については、ごみ袋（家庭用）の価格を据え置いてほしい。	
43	分別を細分化し、生ごみ等資源化できるものを大切にす施策を進めてほしい。また、市中心部・郊外部の連携を強化することで、自然の循環を取りもどしてほしい。プラごみに製造者責任を課してほしい。	
44	敬老祝金について、もうすぐ対象になると思っても年齢が上がっていくのだが、いつ実現するのか。	今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、敬老祝金の現状等について分析を行い、検討を進めてまいります。

45	市の持続可能性は「人を育てる」こと。仙台市で育って良かったと思える子どもたちが未来の仙台市を背負うため、児童館・児童クラブ事業のあり方や公立保育所のあり方をよく考えてほしい。	今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、児童館・児童クラブ事業と公立保育所の現状等について分析を行い、検討を進めてまいります。[No.45-47]
46	学童保育の充実を求める。安心して過ごせる大事な場所だと考える。保育所同様に環境を整備し、職員の労働条件の改善など予算を拡充してほしい。	
47	保育所は民営化せず、公的な責任を果たしていただきたい。保護者の労働を保障し、子どもたちの発達を保障する大事な施設だと考える。	
48	保育所の民営化により経費は削減されたかもしれないが、保育の質が低下していないか丁寧な検証が必要ではないか。	保育所の民営化に際しては、保護者説明会の開催などを通じ、保護者の声を聴くとともに、引継ぎ・合同保育の実施及び三者協議会の設置などにより、児童やその保護者が安心して新しい環境へ移行できるよう努めているところです。 引き続き、保育の質の維持及び向上が図られるよう、定期監査等の機会を活用しながら必要な指導や助言を行っていくとともに、民営化後の状況把握にも努めてまいります。
49	確かに老人福祉センターは泉区でも老朽化が進んでいるが、センターは高齢者の元気づくりに寄与し、大事な交流の場になっている。計画的な補修や、よりアクセスの便利な所への計画的な建替を行い、むしろ充実すること。	今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、老人福祉施設の現状等について分析を行い、検討を進めてまいります。[No.49-50]

50	「老人福祉施設のあり方の検討」の取組みについて、家にとどまっている高齢者をより一層少なくするため、高齢者が利用しやすくなるようにより一層の環境整備を図ってほしい。	今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、老人福祉施設の現状等について分析を行い、検討を進めてまいります。[No.49-50]
51	「市営住宅のあり方の検討」の取組みについて、住宅は人権の基本であり、家賃の値上がりや民営化の方向ではなく、きちんと公共インフラの役割を果たしていただきたい。全体として、コロナ禍の原油高・物価高により、生活困難な方が増えているため、仙台市としてきちんとした公共の役割を果たしていただきたい。	今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、市営住宅の現状等について分析を行い、検討を進めてまいります。
52	仙台市の国保料は高いと思う。収納率の向上を考えるなら国保料を引き下げて、市民が払える金額にすれば収納率が上がると思う。	保険料の負担軽減につきましては、国保が他の医療保険制度に比べ、高齢者が多いことなどから医療費水準が高く、低所得者の加入割合も高いことなど構造的な課題を抱えており、その解決が不可欠であると認識しています。本市では、低所得世帯や子育て世帯を対象とした独自の減免により負担軽減に努めているところですが、更なる国の財政支援の拡充や他の医療保険制度との負担の公平性を図るよう、引き続き国に求めていきたいと考えています。
53	地域スポーツ団体の健全な発展は市民としても、誇らしく嬉しい。楽天・ベガルタ・マイナビ仙台・89ers との魅力的な連携を通じてふるさと納税をアピールしてほしい。	ふるさと納税制度の活用については、今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、適切に取組みを進めてまいります。

54	高額療養費支給業務・第三者行為求償事務の民間委託による業務体制の効率化を進めるにあたって、個人情報の流出に気を付けてほしい。	個人情報を伴う業務の外部委託を行う際は、関係法令や本市基準に基づき、情報漏洩等が生じないよう適切に対応しているところですが、本委託においても適切に対応していきます。
55	市バス、地下鉄を利用してイベントなど外出しやすくしてほしい。	いただいたご意見は、市バス・地下鉄の利便性向上及びお客様増加に向けた取組みを検討するにあたって参考にさせていただきます。[No.55-56]
56	市バス利用しかない丘陵住宅地においては、高齢者が快適に利用できるバス停（ベンチ必須）を優先整備してほしい。	
57	以前はバス一本で行けた所であっても、バスの地下鉄ターミナル化で乗り換えを要することとなり不便になっている。特に通院に困難を抱えている高齢者が多い。	バスと鉄道を乗り継ぐことで早く時間通りに移動できるようになることから、仙台市では鉄道にバスが結節する交通体系の構築を目指しており、交通局でも東西線の開業に合わせてバス路線を再編致しました。 東西線の地下鉄駅では、全ての駅でお客様がご利用しやすいようエレベーターとエスカレーターを設置しているほか、東西線駅周辺の一部のバス停では、結節駅までの運賃を 100 円とするなど、乗継ぎの利便性向上に努めておりますので、ご理解下さいますようお願い致します。

58	長命ヶ丘行きのバス、9 時台にないのは困ります。9 時台に増便して下さい。	市営バスでは、ご利用状況をもとに運行便数を設定しており、現在の仙台駅前発長命ヶ丘行きにつきましては、平日は夜 9 時台も運行しておりますが、土曜と休日について最終便が夜 8 時台となっております。 仙台駅前発長命ヶ丘行きの夜 8 時台の便（土曜と休日）のご利用状況は、ほとんどの便で座席が埋まらない実情のため、夜 9 時台の増便分の運行経費を賄うご利用は見込めず、難しい状況です。
59	バス事業の効率的運営により 23 億円の削減とあるが、バス路線の廃止によって市民の足が奪われているのではないか。	バス事業の効率的な運営による 23 億円の歳出減については、仙台市行財政改革プラン（平成 22～28 年度当初）におけるバス運転業務の管理の民間委託拡大による効果の累計額となっております。交通局ではこれまで、このような経費削減の取組み等により、バス路線を維持できるよう努めてきたところであり、今後も、バス事業の効率的な運営により経費の削減を継続してまいります。また、令和 3 年 3 月に策定した「仙台市交通事業経営計画」においては、お客さまが極めて少ないエリアにおいて、市バスと地域交通とで役割分担を行い、路線バスから地域交通への転換を進めることとしております。これにより、地域の移動を担う交通手段を確保しつつ、バス事業の経営改善を図ってまいります。
60	バス利用を増加させるためにはマイカー通勤による渋滞対策が必須のため、時間通行制限・専用バスレーンの拡大を望む。	いただいたご意見は、路線バスの利便性向上及び利用者増加に向けた取組みを検討するにあたって参考にさせていただきます。

61	<p>ガス事業の民営化について、民営化がどうしても必要であると市民の納得が得られるように丁寧に説明するべきではないか。一度民営化したら元に戻すことはできないため、民営化ありきではなく慎重に検討すべき。世界は民営化から再公営化に向かっており、エネルギーは重要な「コモン」だと考える。エネルギーを民間の営利企業に差し出すことは市民の利益に反することになりはしないかよく検討すべき。</p>	<p>民営化を進めるにあたり、適切な周知等により、市民の皆様からご理解を得ることが重要なものと認識しているところです。</p> <p>ガス事業を取り巻く環境が変化する中であって、将来にわたり、ガスの安全安心はもとより、市民サービスの向上や地域経済の活性化を図るためには、民営化は必要であり、引き続き、民営化の取り組みを進めてまいります。</p> <p>いただいたご意見は、ガス事業の民営化の検討にあたって参考にさせていただきます。[No.61-62]</p>
62	<p>ガスは公営のまま継続してください。</p>	<p>いただいたご意見は、ガス事業の民営化の検討にあたって参考にさせていただきます。[No.61-62]</p>
63	<p>外郭団体は、仙台市の行政の補完的機能を果たすなど極めて重要な存在だと認識している。今後とも、仕事に対する取り組み姿勢等の意識改革等にも留意しつつ、効果的な事業運営を行っていただきたい。</p>	<p>外郭団体の効果的な事業運営については、今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、適切に取り組みを進めてまいります。[No.63-64]</p>
64	<p>より市民が参加しやすいように、活動時間を柔軟にするなど、外郭団体に対しての指導、援助を希望する。</p>	
65	<p>「町内会等住民自治組織への支援の推進」という取り組みについて、「市民が安心して心豊かな地域生活を営む基盤となる町内会等住民自治組織の活性化・持続性の強化を図るため」と記載されている。仙台市は住民の自治組織として町内会を唯一の自治組織とみなしているが、他の指定都市の多くが、地域協議会、校区協議会等の町内会を含む地域の NPO や商店街その他の団体を含むプラットフォームを組織しており、仙台市もこのような住民自治組織の設置に努力すべき。このような組織があってはじめて、行政の下請けでない自主的な自治活動が進展すると考える。</p>	<p>町内会等住民自治組織への支援の推進については、今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、適切に取り組みを進めてまいります。</p>

66	<p>将来の仙台市役所建替にあたり、新庁舎内に保育所を設置し、労働力の主軸となる若い子育て世代の職員の方々が安心して業務に専念できる環境づくりを構築してはどうか。安心して子育てできる仙台市役所職員の姿を世間に周知することにより、若い世代に対して吸引力のある組織となるばかりでなく、仙台市の更なる活性化にも繋がるものと期待し、全国的にも子育て支援の在り方について模範となるような成功事例を発信していただきたい。</p>	<p>市役所本庁舎の建替については、今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、適切に取組みを進めてまいります。</p>
67	<p>新本庁舎について、建築のスケジュール・内容を案の段階で公表してほしい。</p>	<p>市役所本庁舎の建替については、仙台市のホームページで整備スケジュールや内容、これまでの検討の経過について公開しているほか、令和3年11月には市民説明会も実施しております。詳細は下記リンク先をご覧ください。 https://www.city.sendai.jp/tatekae/kentoujoukyou.html</p>
68	<p>歩道上の Open Café、西公園内の Café、特に広瀬川沿い景勝地にリバーサイドテラス Café など、仙台市基盤の良さを最優先に新しい魅力を創出するとともに、若者の新たな働き方を広げ、“挑戦を続ける新たな杜の都”を実現してほしい。そのためには縦割りの部局ではなく、横断する専門部局の統合したプロジェクト組織が必須と考える。</p>	<p>公民連携の推進については、今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、適切に取組みを進めてまいります。</p>

69	<p>戊辰戦争後、明治新政府の政策により、あたかも『内国植民地』のような形が作り上げられ、東北人は何も発言しなくなったという背景があったと言われる。自らチャレンジせず、中央から指示されたことを官民間わず、最後に実行する風土はこのようにしてできたのかもしれないが、こうした中でも、多くの優秀な人材がチャレンジを続けて今の仙台・東北がある。人財育成の場として、戊辰後の近現代の埋もれた先人の取組みを学び、チャレンジや指針を学ぶ場『(仮称) 戊辰記念館』を建設し、広く市民や子供たちに仙台人・東北人の気概を見学する場を作ってほしい。</p>	<p>新たな取組みの提案については、今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、学びの機会を提供する取組みを検討してまいります。</p>
70	<p>未利用市有地には、可能な限り緑地公園・市民農園等を設けるとともに、公共施設、高層ビルにおいても屋上庭園等の緑化を進める施策を望む。</p>	<p>新たな取組みの提案については、関係局と情報共有し、今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、取組みを検討してまいります。 [No.70-77]</p>
71	<p>テレワーク・web による仕事・会議など現状では新たな効率的な働き方が生まれている。分散する古い庁舎も防音・ネット環境の整備で十分魅力的な職場になるはずで現状施設の利用検討を最優先とすべきである。</p>	
72	<p>市が持つ情報を積極的に活用し、情報連携を行い、新たなDX行政サービスの提供をつくってほしい。また、市民から見えるよう広報／HPにDXコーナーを設け、積極的に発信してほしい。</p>	

73	<p>仙台市役所のDXを支えるのは『市民DX＝市民のデジタル変革』だが、マイナンバー／マイナンバーカードの本来の機能について、政府や仙台市が市民へ正しく情報提供をしていないため、市民から理解が得られていないのが現状。このような状況は、行政の怠慢としか思えない。個人の情報は個人のものであるという原理原則に則って、今一度、普及促進のために先頭に立って市民への情報提供並びに医師会への働きかけを行ってほしい。</p>	<p>新たな取組みの提案については、関係局と情報共有し、今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、取組みを検討してまいります。 [No.70-77]</p>
74	<p>政府は、2025年度を目途に電子カルテ情報の標準化や医療・介護情報連携を進めているが、カルテの共有ができれば無駄な医療費は支払う必要はなく、国保費削減につながり、年金生活の高齢者にとっても市にとっても重要な政策になるはず。全国の先頭に立ってヘルスDXを積極的に進めてほしい。</p>	
75	<p>マイナンバーカードの市独自利用を積極的に実施してほしい。例えば、図書カードをマイナンバーカードと紐づけすれば、オンラインでも本人確認ができる。やらない理由を並べるのではなく、やるための議論を関係部門で議論し、実行に移してほしい。独自利用のチャンスを市民に提供することにより、市民の選択肢を増やし、市民が便利なカードだと実感できる環境を整備願う。</p>	

76	<p>仙台市では選挙のたびに投票事務のミスが報告されているが、相変わらずの紙台帳で受付して、何もやり方を変えない体質によるものだとすれば許されることではない。変革を期待する。そしてインターネット投票にチャレンジしてほしい。施設入居中の高齢者、障害者、住所を移していない学生に対し、投票の機会を提供すべき。スーパーシティ公募では、つくば市をはじめとして数団体が手を挙げている。</p>	<p>新たな取組みの提案については、関係局と情報共有し、今回いただいた内容も含め、様々なご意見等も踏まえながら、取組みを検討してまいります。 [No.70-77]</p>
77	<p>デジタル庁や台湾ではアイデアBOXを作り、国民との共創の場を提供している。国や自治体が政策を立案し、国民・市民がそれに従う時代は終わった。そもそも国自身がデジタル化に大きく後れをとっており、地方自治体もその被害者でもあるが、これらのことも市民が行政に対し、不信感を持つようになった原因でもある。本パブコメについても市は最後の最後に市民・企業に意見を求めているが、これでは遅すぎる。問題が起こる前に市役所だけでなく、市民、企業を交えた市民共創の場（Living Lab）の設置を要望する。</p>	